



**特定非営利活動法人**  
**ニッポン・アクティブライフ・クラブ**  
 事務局:大阪市中央区常盤町2-1-8MIRO谷町4階 〒540-0028  
 電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-5130  
 ホームページ <http://nalc.jp> 毎月1回 10日発行  
 Eメール編集室...[kaiho@nalc.jp](mailto:kaiho@nalc.jp)

# 20周年を振り返り 今後のナルクを展望する

20周年の記念諸行事が目前に迫った。仙台には一人でも多くの会員が参集し、「明日のナルク」を語り合おう。20周年を間近に控え、早くから、長くナルクの活動に携わってきた方々にご登壇願ひ、過ぎ去った20周年を振り返り、明日のナルクを展望していただいた。いま、ナルクは大きな転換期を迎えている。どの方向に進むのがよいのか、事業計画を指針に皆で討議を深めたい(50音順)。

## 鎌田光三 (びわこ湖西)

「自立・奉仕・仲間同士の助け合い。これらの活動を通じて生きがいを持たせたい」というナルク理念に共鳴し、先輩の後を追っかけて17年目を迎えました。1998年6月、びわこ拠点設立後2年で、大津市内商店街の一角に1坪の間借り事務所を開きました。そしてA4一枚の会報「さざなみ」を発行し、運営委員会の帰途、本部のナルク新聞と一緒に、皆で会員宅に配ったことも楽しい思い出です。

会員は皆元気で、時間預託活動が発生せず、どうするか悩んでいた時、障害者団体との契約、金大一氏との出会いから一氏との出会いから時間預託活動が大きく動き出しました。そして地域密着の子育て支援も増えるにつれ、琵琶湖周辺から大津に集まることになり、2004年4月、5拠点に細胞分裂致しました。子育て支援は「日本の未来づくりである」と同時にナルクの未来づくりでもあり、2004年4月、5拠点に細胞分裂致しました。子育て支援は「日本の未来づくりである」と同時にナルクの未来づくりでもあり、2004年4月、5拠点に細胞分裂致しました。



びわこ湖西のびよびよひろば活動(田植え風景)

## 田邊榮一郎(本部)

発生するから分らない病気や事故の助け合いは、地域の大きな課題です。大地震の時と同じように「近所のつながり」が何よりも大切ですが、行政も自治会も問題視しているだけです。

ナルク20周年を振り返るの苦労は、枚挙にいとまがないが、強いあげれば、WACCからの独立である。

下河辺WACC会長から「WACCアクティブクラブ(当時のナルク名)は、2重構造なので、解散してWACCと一体になるか、独立して分離すべきだ」との意見が出された。

そこで、阪神淡路大震災を期に作られた「NPO法」に基づき、平成10年、ナルクを立ち上げることにしたが、もともNPO法は、小規模な事業団体を基盤にして策定したもので、定款を作るに当たっては、間尺に合わないことが多い。三木弁護士と高畑会長と3人で、法律と証左検証した辛酸は今も忘れられない。

一つには、ナルクのモットーである時間預託活動は、会員同士の助け合いであるため、不特定多数を対象に活動することを原則としたNPO定款には入れることができず、規約細則を作った。

次に、総会であるが、NPO法では、「会員全員が総会の構成員である」と定められている。代理制も認められていないため、正会員(年会費10,000円)と活動会員(年会費3,000円)とに分けることを考え、対処した。

ナルクの根幹は、会員同士が死ぬまで無償で助け合うことである。成年後見から葬儀に至るまで、仲間の絆は家族同然なのだ。

介護保険のインフラ、オールドサービスが事業化され、家事援助、買い物支援、移送サービスなどが、「お金」で行われることになって、ナルクの「時間預託制度」は、「長屋イズム」と共に、失われつつある。

阪神淡路大震災を契機に、ボランティア活動が注目を浴び、ナルクとしては「高齢者の相互支援」という目的に加え、地域との交流などの活動に、大きな広がりを持つことができました。

## 野村文夫 (枚方)

私はナルクが「WACCアイティブクラブ」と言う名称だった創立当初に薦められて会員になりました。

高齢者の相互扶助を実施していた米国のAARP(全米退職者協会)を現地に視察し、ボランティア精神を体得、行動のツールとして「1時間1ドルの支援活動」を参考とする恒久的なボランティア団体としてナルクを作り上げられた高畑会長の慧眼と実行力は素晴らしいことでした。

また、設立当初に起こった「阪神淡路大震災」の時に、メンバー全員が一体となって直ちに行動を起し、街頭募金や現地での炊き出し、仮設訪問などの行動を徹底して推し進めたことが、現在の私達行動の原点になっています。

介護保険のインフラ、オールドサービスが事業化され、家事援助、買い物支援、移送サービスなどが、「お金」で行われることになって、ナルクの「時間預託制度」は、「長屋イズム」と共に、失われつつある。

阪神淡路大震災を契機に、ボランティア活動が注目を浴び、ナルクとしては「高齢者の相互支援」という目的に加え、地域との交流などの活動に、大きな広がりを持つことができました。



枚方拠点の最初の事務所

介護保険が施行されてから14年目に入つた。65歳以上の高齢者が全人口に占める割合も24%を超した。来年4月には保険法の一部が改正される。計画では要支援Ⅰ・Ⅱが介護保険から外され、行政が直接この分野を担当することになった。また団塊の世代が75歳以上になる2025年を目途に、在宅で診療から介護、看取りの全てが行われる地域包括ケアの体制に変わっていくプランが立てられている。行政は要支援Ⅰ・Ⅱを担当し、同時に包括ケア体制を作らねばならないが、市民の立場からチェックし参加していく必要がある。医師会の協力を得た在宅巡回診療が実施されるのか、助け合いのインフラ、マルサービスを提供する数多くのNPOやボランティア団体、サービ事業者が現れるのが成功の鍵。税金の他にサービ利用者から料金を取って委託事業とする自治体も出てくるだろうが、ナルクがコーディネート機能はもてるのか、積極的に事業を担っていく覚悟が問われる。(高畑敬一)

その後NPO法の制定、介護保険制度の実施、地域行政の簡素化によるNPOの参加などが矢張り早になされてきて、私達の活動の場は大きく開けました。

定年退職を機にナルクに入会し、拠点設立の準備に参加し15年が過ぎた。設立後は運営資金不足のため、会員同士が自宅の庭木の手入れをし合い、寄付金を集めることもあった。そんな折、誰もが参加できる活動としてアルミ缶集めを始め、その活動がきっかけ、アルミ缶リサイクル協会から優秀団体として表彰された。

平成12年の全国一斉日本列島の掃除「ナルク・クリーン日本」では、地元41自治会787班の賛同を得て、鬼怒川石

想が必要だと思いき、20周年記念行事の中で、共に語り合います。

井緑地周辺で20トンの粗大ゴミを集めた。それ以降毎年、「大谷クリーンキャンペーン」など数多くの奉仕活動を継続しており、今では宇都宮市担当課が、ごみ袋・ロープ・軍手を準備し、地元自治会は作業に参加し飲み物を差し入れてくれるなど行政と地域一体の活動となっている。

顔の見える活動として、総会とか芋煮会など全体の交流会行事は「一人でも多く」を目標とし、前年の参加者リストを元に電話で勧誘し、親近感を深め、名前を覚える良い機会となっている。

5年ほど前、厚労省の宮島老健局長は「介護保険で高齢者の皆さんの面倒を見よう」としました。

「要支援」「要介護」の方々は、居住地域でお互いに助け合っていく社会を早く作ってくださと国は、必死に地域の究極の目的である「地域コミュニティ」を訴えています。

これらの方々の介護予防と生活支援を落共同体、隣組、向老人クラブ・町内会・自治会・NPO・ボランティアが総動員で支援するので、地域包括支援センター、市町村の高齢福祉課・介護保険課などをはじめ、中学校区の諸組織と連携をとり、20年間培った活動で、あらゆる方法で地域に密着させよう」と申上げました。これ生かそうではありませんが、いよいよ現実味を感ずりました。

29年介護保険改正では、「要支援」「要介護」の方々は、居住地域でお互いに助け合っていく社会を早く作ってくださと国は、必死に地域の究極の目的である「地域コミュニティ」を訴えています。

これらの方々の介護予防と生活支援を落共同体、隣組、向老人クラブ・町内会・自治会・NPO・ボランティアが総動員で支援するので、地域包括支援センター、市町村の高齢福祉課・介護保険課などをはじめ、中学校区の諸組織と連携をとり、20年間培った活動で、あらゆる方法で地域に密着させよう」と申上げました。これ生かそうではありませんが、いよいよ現実味を感ずりました。

「要支援」「要介護」の方々は、居住地域でお互いに助け合っていく社会を早く作ってくださと国は、必死に地域の究極の目的である「地域コミュニティ」を訴えています。

これらの方々の介護予防と生活支援を落共同体、隣組、向老人クラブ・町内会・自治会・NPO・ボランティアが総動員で支援するので、地域包括支援センター、市町村の高齢福祉課・介護保険課などをはじめ、中学校区の諸組織と連携をとり、20年間培った活動で、あらゆる方法で地域に密着させよう」と申上げました。これ生かそうではありませんが、いよいよ現実味を感ずりました。

「要支援」「要介護」の方々は、居住地域でお互いに助け合っていく社会を早く作ってくださと国は、必死に地域の究極の目的である「地域コミュニティ」を訴えています。

これらの方々の介護予防と生活支援を落共同体、隣組、向老人クラブ・町内会・自治会・NPO・ボランティアが総動員で支援するので、地域包括支援センター、市町村の高齢福祉課・介護保険課などをはじめ、中学校区の諸組織と連携をとり、20年間培った活動で、あらゆる方法で地域に密着させよう」と申上げました。これ生かそうではありませんが、いよいよ現実味を感ずりました。

「要支援」「要介護」の方々は、居住地域でお互いに助け合っていく社会を早く作ってくださと国は、必死に地域の究極の目的である「地域コミュニティ」を訴えています。

これらの方々の介護予防と生活支援を落共同体、隣組、向老人クラブ・町内会・自治会・NPO・ボランティアが総動員で支援するので、地域包括支援センター、市町村の高齢福祉課・介護保険課などをはじめ、中学校区の諸組織と連携をとり、20年間培った活動で、あらゆる方法で地域に密着させよう」と申上げました。これ生かそうではありませんが、いよいよ現実味を感ずりました。

「要支援」「要介護」の方々は、居住地域でお互いに助け合っていく社会を早く作ってくださと国は、必死に地域の究極の目的である「地域コミュニティ」を訴えています。

これらの方々の介護予防と生活支援を落共同体、隣組、向老人クラブ・町内会・自治会・NPO・ボランティアが総動員で支援するので、地域包括支援センター、市町村の高齢福祉課・介護保険課などをはじめ、中学校区の諸組織と連携をとり、20年間培った活動で、あらゆる方法で地域に密着させよう」と申上げました。これ生かそうではありませんが、いよいよ現実味を感ずりました。

「要支援」「要介護」の方々は、居住地域でお互いに助け合っていく社会を早く作ってくださと国は、必死に地域の究極の目的である「地域コミュニティ」を訴えています。

これらの方々の介護予防と生活支援を落共同体、隣組、向老人クラブ・町内会・自治会・NPO・ボランティアが総動員で支援するので、地域包括支援センター、市町村の高齢福祉課・介護保険課などをはじめ、中学校区の諸組織と連携をとり、20年間培った活動で、あらゆる方法で地域に密着させよう」と申上げました。これ生かそうではありませんが、いよいよ現実味を感ずりました。

「要支援」「要介護」の方々は、居住地域でお互いに助け合っていく社会を早く作ってくださと国は、必死に地域の究極の目的である「地域コミュニティ」を訴えています。

これらの方々の介護予防と生活支援を落共同体、隣組、向老人クラブ・町内会・自治会・NPO・ボランティアが総動員で支援するので、地域包括支援センター、市町村の高齢福祉課・介護保険課などをはじめ、中学校区の諸組織と連携をとり、20年間培った活動で、あらゆる方法で地域に密着させよう」と申上げました。これ生かそうではありませんが、いよいよ現実味を感ずりました。

おらが拠点の熱いひと

宮城拠点 佐藤美喜さんの巻



ナルク宮城の大震災後の仮設住宅への活動は、女性会員の献身的な努力がなければ、なし得ないことであつた。その中心となつて取り仕切る女性こそ、全国応援拠点にその名も高い「佐藤美喜さん」である。

「パラソル喫茶」開催の都度、仮設責任者との折衝に始

まり、居住者への周知のピラ作り、当日の喫茶の準備、そして拠点応援者への注意事項の伝達など、本番前の多くの準備に駆け回る姿は鬼気迫るものを感じていた。勿論、彼女一人ではこなせるはずもなく、他の女性活動家の一息専心の協力があつたればこそである。



かくして本番を迎えると、男性も率先して加わつて「ハンドマッサージ」が始まり、いよいよ美喜さん主導による歌の時間となる。歌声を引き

出す先導役もなかなか大変だと思つたが、民謡も含めてその場の雰囲気を感じ察しながら、1時間半を飽きさせず取り仕切る才覚を、いつも感心して眺めている。

こうして「パラソル喫茶」は閉店となるが、これを初日とする2日目は他の仮設となるので帰途、翌日の仮設責任者への挨拶など準備を終了となる。

これらを、責任者として全うすることは、長期にわたることだけに、女性ならではの辛抱強さがもたらすことかも

藤岡(武)本部

5年ほど前、厚労省の宮島老健局長は「介護保険で高齢者の皆さんの面倒を見よう」としました。

「要支援」「要介護」の方々は、居住地域でお互いに助け合っていく社会を早く作ってくださと国は、必死に地域の究極の目的である「地域コミュニティ」を訴えています。

**ナルク用語辞典**

**=移送=**

ナルクでは会員同志の助け合いメニューの一つに「移送」があります。

具体的には会員Aさんが病院へ行くために、車での移送の依頼がありました。コーディネーターは会員Bさんに依頼内容を伝え、BさんはAさんの「病院への送迎活動」を行いました。

この場合、Aさんは、Bさんがこの活動でマイカーを走行し消費したガソリン代の実費を活動拠点を通じて支払います。また、この走行で道路使用料や駐車場代を要した場合は、その費用も合わせて支払います。しかし、この車での移送中の活動は無償です。

このルールは、2006年の道路運送法の改正において、「助け合い移送に対して支払われる対価の類が、実際に運送に要したガソリン代、道路使用料、駐車場代に限定される類型(A類型)」に該当し、道路運送法における登録または許可を要しない運送とされた経緯があります。

**つれづれの記**

清酒と酒発祥の地

最近、清酒(日本酒)での乾杯をすすめる条例が京都をトップに施行され、現在15自治体におよんでいる。清酒は日本の神事や祭礼・儀式において欠かせないものでもある。

皆さん、「10月1日は日本酒の日」をご存知でしょうか。「10月1日」は、新米での酒造りが10月であること、酒壺を表す「酉」の字が十二支の10番目であること、さらに「酒造年度」が10月1日(現在は7月1日)から始まることなどからである。それでは、清酒造りと発祥の地はどこであろうか。

伊丹市発行の図書によると、(慶長5年(1600年)ごろに、戦国時代の武将であった伊丹氏の家臣山中鹿之助の子・幸元が伊丹(兵庫県)の鴻池村で酒造りに精を出していたある日、使用人(小僧)が主人にしかられた腹いせに酒の貯蔵桶に灰を投げ込んだところ、濁り酒が一液にして清く澄み、味も香りもまろやかな酒になったという。

それでは、清酒の発祥地は伊丹か!と言つと、そうでもないらしい。奈良では室町時代、寺院の酒は僧坊酒と呼ばれ、

大和の菩提山正磨寺の「菩提泉(ぼだいせん)」が売られていた。その後菩提泉を中心とする奈良酒の伝統をくむ「南都諸白」が銘酒の代名詞として用いられた。

一方、伊丹の清酒は山中幸元が樽廻船を使って大阪・淀川の河口から江戸に、清酒の品質を落とさないう運び、「丹醸」や「伊丹諸白」として江戸市民に愛された。「イタミノサケケサ ノミタイ(伊丹の酒、今朝飲みたい)」と上から読んでも下から読んでも同じ言葉遊びとしてよく知られた。しかし、伊丹の酒はその後、灘(神戸)に取って代わられることになった。それは六甲山からの急流で水を回して精米する省力化の成功と、「宮水」と呼ばれる酒造りに適した水(硬水)が豊富であったことによる。

それでは清酒の本場の発祥の地はいったいどこか。それは、突き詰ると酒造りの「基礎技術」は奈良、江戸を中心に幅広く市場開拓したのは伊丹、との説が有力のようである。

さて、左党の皆さんの最も気に入る清酒の飲み方は燗、冷、それとも常温? 狩野 勇

「諸白」とは、麴米(蒸して麴菌を入れて麹をつくる米)、掛米(蒸して麹や酒母とともに発酵させてもろみをつくる米)とも、精白した米を用いること。

大津市民を対象に介護教室を開講
ナルクのテキストを使った市民塾

大津中央拠点では 人を超えると言われ
大津NPOセンター
が開催した市民塾の
ための心構えを学
中の「介護教室」を
ぶことができた。

担当、市民に「身近
「認知症家族の会」
な介護を身につけよ
の会員の方にもお越
う」と呼びかけた。

介護教室は1月26
経験談を聞くことが
日から3月8日まで
できた。

4回にわたって開か
れ、ナルクの「シニ
ア介護サポーター養
成講座」のテキスト
を使って行われた。
最終回の3月8日
は、大津市中消防署
の救急救命士を講師
に招き、実際の緊急
時の対処の仕方やA
EDの使い方を学習
した。

また、この日
は市の健康長寿
課の職員の方を
講師に、「認知症
サポーター養成
講座」も開かれ、
全国で400万



とくとも情報
ナルク提携企業・団体
ナルクは、会員が割安で利用できるように、色々な企業や団体と提携しています。関連グッズもご紹介いたしますのでご利用ください。

①国立文楽劇場

預託点数、奉仕点
数2点で、会員及び
その同伴者は、入場
料1等5800円が
4800円に割引さ
れます。また5人以
上の団体は楽屋見
学、会長との夕食会
がセットできます。

②ユニコア

パナソニック労組
の研修施設で、会員
は組合員と同じ料金
で利用できます。
宿泊設備、レストラ
ン、テニスコート、
プール、パターゴルフ、
キャンプ場、な
ど設備が充実してい

③パナソニックリソ

大阪府茨木市にあ
るパナソニック健康
保険組合の保養施設
です。
宿泊、食事ができ
て、テニスコート、
プールなどの設備が
あります。

④湯快リゾート

各地の湯快リゾート
・グループのホテル
・旅館が1泊2食
付8100円(税込)
で利用できます(利
用は月・木)。また
現地ホテルまで格安
の直通バスが運行さ
れています。

⑤関西SOS

関西電力系列のホ
ームセキュリティ・
最近の体調をお聞きすることもあります。私
は自分で「ご挨拶回り」と称しています。
その途中では、体調を崩して他市の施設へ
移るために退会した方、入会したものの「ナ
ルクには自分の居場所がなさそうだ」と退会
した方、「入会を希望」とのことでもいちどお
話したがその後連絡のない方、などのお宅の
前を通ります。西国に転居しながら「もう少し
横浜との繋がりを楽しみたい」と仰って横
浜拠点に在籍している方の旧宅もあります。
10年前にNHK放映の「ご近所の底力」が
きっかけで、ナルクに入会したので、
ご近所の重要性は分かっています。しかし身
近に多様な側面での日常生活を共有している



ちよつと聞いて
コーディネーターのつぶやき

私は毎月中旬、自転車で我が町の会員宅、
15軒ほどを回り会報を配っています。次の活
動日程の確認、運営寄付金の集金、あるいは

システムです。割引
価格で利用できま
す。
②帽子 1440円
③Tシャツ 1860円
④ジャンパー 3240円
⑤ベスト 2950円
⑥パジャマ 240円
⑦ユニホーム靴 240円
⑧ポロシャツ 半袖1960円 長袖2160円 (いずれも税込)

- ②帽子 1440円
③Tシャツ 1860円
④ジャンパー 3240円
⑤ベスト 2950円
⑥パジャマ 240円
⑦ユニホーム靴 240円
⑧ポロシャツ 半袖1960円 長袖2160円 (いずれも税込)

水戸拠点車椅子介助
3年間のお役目を達成

水戸拠点
では東日本
大震災の直
後に、「交
通事故で下
半身が麻痺
した車椅子
の高校生F
君の階段移
動を介助し
て欲しい」
との依頼を
受けた。

F君は、中学校ま
では義務教育なので
学校が面倒を見てく
れていたが、公立高
校が面倒を見てく
れなかったが、
F君はこの春、エ
レベーターのある
「つくば大学」への
推薦入学が決まり、
我々もお役ご免とな
った。介助にかかわ
った会員皆で「激励
会」を催して、F君
との別れを惜しん
だ。

とちのみ八十路会
発足に向け始動

栃木拠点
でも、「ナ
ルク栃木の
高齢者ここ
にあり」の
気概を集結
して、八十
路会を発足
させること
になった。

これによ
って新しい活動分野
が開拓できるのでは
ないかと期待が高ま
っている。
高齢者でないとい
て新しい活動、能力に
見合った活動をする
ことで、ナルク全体
のポランテア活動
を活性化させようと
いう狙いもある。

八十代にこだわら
ず、主旨に賛同する
方を広く募集中。

現在予定している
活動としては、「ど
んぐり育苗」「事務
所当番」「ウオーキ
ング」「市内名所探
訪」「おしゃれ講座」
「芸能鑑賞」「書き
方教室」「県議・市
議との懇談」「子育
ち支援」など多数。

コンサートで会員拡大
東神戸拠点のコンサート活動

東神戸拠
点では、高
齢者施設の
慰問と会員
拡大を目的
にミュージ
ック・コン
サートを行
っている。

20周年記念行事を
間近に控え、J&B
のメンバーも、この
ところ練習に余念が
ない。

毎月第2、4の金
曜日、本部近くの産
業創造館に集まり、
津田知枝先生の指導
のもと、猛特訓を続
けている。

本番は「ナルクの
歌」「この街で」「茶
摘み」「夏は来ぬ」
「椰子の実」などを
歌ったあと、会場の
前で、国内では最大の
チューリップ祭
り。600品種
250万本が会
場を埋め尽く
す。

会場になる砺
波チューリップ
公園は、JR砺
波駅から徒歩15
分の便利な所
一度訪れてみて
は、いかが。



練習に励むJ&Bの皆さん

チューリップ祭
り。600品種
250万本が会
場を埋め尽く
す。



チューリップ
花娘が来訪

3月24日、富山か
らチューリップ娘が
本部を訪れた。
チューリップ娘
は、4月23日から始まる
「となみチューリッ
プ・フェア」をアピ
ールした。

このフェアは、毎
年4月下旬から5月
上旬にかけて砺波市
で開催されるもの
で、国内では最大の
チューリップ祭
り。600品種
250万本が会
場を埋め尽く
す。

読者の広場

俳句

「横浜」
車いす
押して野原は春の色
京子

春つらら
時間あるみの路線バス
ちかね

露のたう
苦渋もつまし朝餉かな
皓旦

雪だるま
身を寄せ合って
ちしみ行く 準幸

「銚子」
水温む
鏡の向こうに父がいた
春の風
少し弱気に雨を聞く
一戸建

草餅に
膝の痛みを忘れけり
猫柳
日射しを受けて輝けり
春代

蒲公英(たんぽぽ)の
揺らぐバス停送る母
園児らの
夢吹き込むしゃぼん玉
恵

短歌

「広島」
裏庭や
小池に揺らぐ満月に
浮し松の葉
ひとつ静かに

この霧の
向こうに君がいく春や
飛翔の瞬間を待ちて
眺めつ

随想

今の自分に喝!

「交野」 村田ひさ子

若い頃に比べると、体力・気力の衰えは否めず、何をすることも気合が入らず、「当たり前のことだ」と分かっていても受け入れられず、落胆して、ため息をつくことが多くなりました。用事を頼まれても、さほど忙しくないのに「忙しいから」と言い訳をして、逃げ道を作り、現状回避をします。主人には特に「ゴメンなさい」と言いたいです。子育て真っ最中のころの、やる気満々で、どこに行くにも3人の息子たちを自転車の前後と、背中におんぶして、軽快にペダルをこいで出かけていた姿を懐かしく思い出します。

下の息子が小学校2年生の時、「僕のお母さんは毎日100万馬力で家の掃除や食事を作ってくれます」と作文に書いて、先生に「すごいお母さんだね」と褒めていただいたこともあります。「嬉しかった」と言っていた息子のあのときの笑顔がよみがえってきます。そこで、今後の生き方を真剣に考えて、「やりたいこと」「しておきたいこと」「しなければならぬこと」、あれこれと思い描きました。中途半端で、仕上がっていないパッチワーク作品を完成させること、写真や衣類の整理、家族旅行などいろいろあります。体力の衰えは避けられないのだから、今の自分に喝を入れて、日々の生活を見直し、楽しみながら「ナルク活動」も頑張っていきたいと思えます。

八尾から和歌山へ
楽しいかな
パソコン人生

「和歌山」 西尾貞子
私は自宅を「八尾拠点」の事務所として15年、その後、夫が亡くなり故郷和歌山に帰り、4年が過ぎた。一人になった私は、「ナルクが生きがい」の日々を送っている。八尾時代に預託している

た点数で、ナルクにパソコンの家庭教師をお願いしている。傘寿を過ぎて病弱で「パソコン教室」に通えないのだ。恥ずかしながら、人さし指一本で文字を打つが、とても楽しく「心ワクワク」する。会報「わくわく通信」が、毎月届くのが待ち遠しい。「ナルクを利用しよう」のテーマで、利用された方々の様子が、いくつも紹介されている。「お風呂の壁塗り替え」「お孫さんの結婚式に、「お婆さんのお供」をされた話、お盆に代理で「お墓参り」をされた話など、色々載っている。私は大阪まで引越してお願ひしたことを思い出している。その時も面白い物、お孫さんとのメールの

子供たちから「おじさん、ありがと」の音が嬉しのです。(丹村喜維)

「亀岡」
2月10日「ナルク亀岡設立15周年記念祝賀会」が、市内「ガレリアかめおか・コンベンションホール」で、来賓を含む130余名の出席のもと、盛大に開催されました。煙代表の挨拶のあと、「亀岡市社協」の矢田会館で、「お花苑・みずのき」の沼津施設長など来賓の

交換をはじめ、写真の編集、ペイントでの絵画作りなど、次々とマスターされた。現在はインターネットを介して、人生相談やエッセイ教室への投稿など、自宅にいながら大活躍されています。もともとは、パソコンのお手伝いで伺ったのですが、今は、このハイカラさんとお話するのが楽しみです。

4月号の俳句で「神戸拠点」とあるのは「北神・三田拠点」の誤りでした。お詫びして訂正します。

記者レポート

「枚方」

防災小学校に参加
余り聞き慣れない言葉ですが、これはNPO、地域学校、行政が共に

「ひらかた市民活動支援センター」の事業です。主な内容は、防災訓練、消防・救急車の展示、講座などです。

東日本大震災から1年の節目に、改めて被災地に思いを寄せる同時に、枚方の防災についても考える機会を提供しようと、その趣旨的に賛同する

3月18日、第1回の防災教室が開かれ、当拠点も参加し、宮城拠点への

支援活動の体験講演、被災地の写真展示、そしてハンドマッサージと血圧測定を行いました。ハンドマッサージは大変好評でした。

「大阪」

「東大阪・大東」
北河内地区拠点連絡会議
2月20日、枚方、交野、寝屋川、四條畷、守口、門真、東大阪・大東の北河内地区6拠点が集まって情報交換をする連絡会

の第9回が「東大阪・大東」の事務所で開催されました。

高畑会長から「財政基盤強化委員会の件」「介護保険法の改正」「地域包括ケアの件」などについて話があり、引き続き各拠点から現状報告が行われました。

枚方拠点で行っている青パトの活動は、四條畷でも計画中で、皆の注目

この病院では、壊れたり、動かなくなった病気のおもちゃを、無料で修理しています。

「かずさ」

「ナルクかずさ」は、昨年5月から、子育て支援活動の一つとして「おもちゃ病院」を開院しました。

この病院では、壊れたり、動かなくなった病気のおもちゃを、無料で修理しています。

おもちゃドクターの経験者3名での船出でしたが、お客様の評判や、口コミもあり、現在13名のおもちゃドクターで、4箇所のおもちゃ病院を運

全国の「日本おもちゃ病院協会」に所属する病院が約470箇所あり、大勢のおもちゃドクターがボランティアで活動しています。治ったおもちゃを手にして喜ぶ

皆さんからお祝辞をいただきました。高畑会長も記念講演を行い、今後のナルクの進むべき道を示してくださいました。高齢者が安心して住み慣れた場所で医療を受けられる「地域包括ケア」の今後の動きに注目したい、という話が印象的でした。

「東大阪・大東」

北河内地区拠点連絡会議
2月20日、枚方、交野、寝屋川、四條畷、守口、門真、東大阪・大東の北河内地区6拠点が集まって情報交換をする連絡会

の第9回が「東大阪・大東」の事務所で開催されました。

高畑会長から「財政基盤強化委員会の件」「介護保険法の改正」「地域包括ケアの件」などについて話があり、引き続き各拠点から現状報告が行われました。

枚方拠点で行っている青パトの活動は、四條畷でも計画中で、皆の注目

この病院では、壊れたり、動かなくなった病気のおもちゃを、無料で修理しています。



北河内6拠点連絡会議

ナルクの現勢

2014年5月1日現在

Table with 2 columns: 地域 (Region) and 活動拠点数 (Number of activity bases). Rows include 北海道地区 (11), 東北地区 (4), 関東地区 (28), 信州地区 (6), 北陸地区 (3), 中部地区 (8), 近畿地区 (48), 中国地区 (8), 四国地区 (6), 九州地区 (6), 合計 (128).

海外

Table with 2 columns: 地域 (Region) and 活動拠点数 (Number of activity bases). Rows include ナルクUSA (1), ナルクスイス (1), ナルクUK (1).

本部 住所電話は1面
題字下に記載
東京事務所 〒105-0004
東京都港区新橋6-15-8
空調ビル3F
電話03-6435-6352

団体賛助会員

(5口以上・敬称略)

あいおいニッセイ同和損害保険・大阪ガス労働組合・亀岡病院・関西電力労働組合・近畿労働金庫・公益社・サンヨー電機労働組合・CGCグループ・全電通近畿社会福祉事業団・全東レ労働組合連合会・東北電力労働組合・東北発電工業・日新製鋼労働組合・パナソニック・パナソニックグループ労働組合連合会・パナソニックエコソリューションズ労働組合・丸十服装・妙見閣寺・ユアテックユニオン・U1ゼンセン同盟・信和ゴルフメンテナンス・労働者福祉中央協議会・四国電力生活協同組合・日通旅行・亀岡松花苑(みずの木)・ライフ薬局・(株)明倫社・新和企業(株)大阪支店